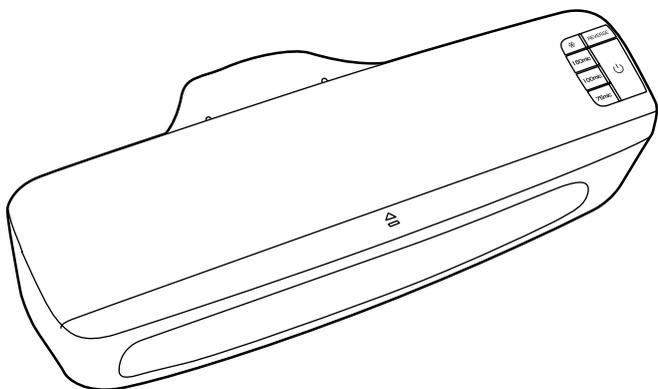




取扱説明書

パウチラミネーター C400V



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目次

| | |
|---------------|----|
| 1.内容物の確認 | 1 |
| 2.ご使用上の注意 | 2 |
| 3.各部の名称と働き | 4 |
| 4.ラミネート作業上の注意 | 6 |
| 5.ご使用の前に | 9 |
| 6.操作方法 | 9 |
| 7.お手入れ方法 | 14 |
| 8.こんなときは | 15 |
| 9.製品仕様 | 16 |
| 保証とサービス | |

お客様へ

小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。

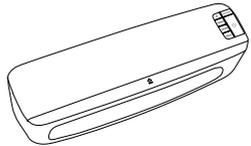
本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。

本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

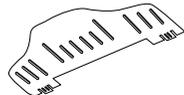
1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

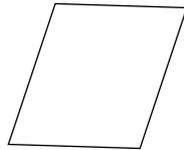
マシン本体



サポートトレイ



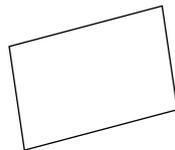
クリーニングペーパー



取扱説明書（本書）



ラミネーター使用時の
注意書き



お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

-  **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを「オフ」にして取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。
発火する恐れがあります。

3・各部の名称と働き



万一、煙が出たり、変な臭いがあるなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。
火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。
本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。
火災、感電の恐れがあります。



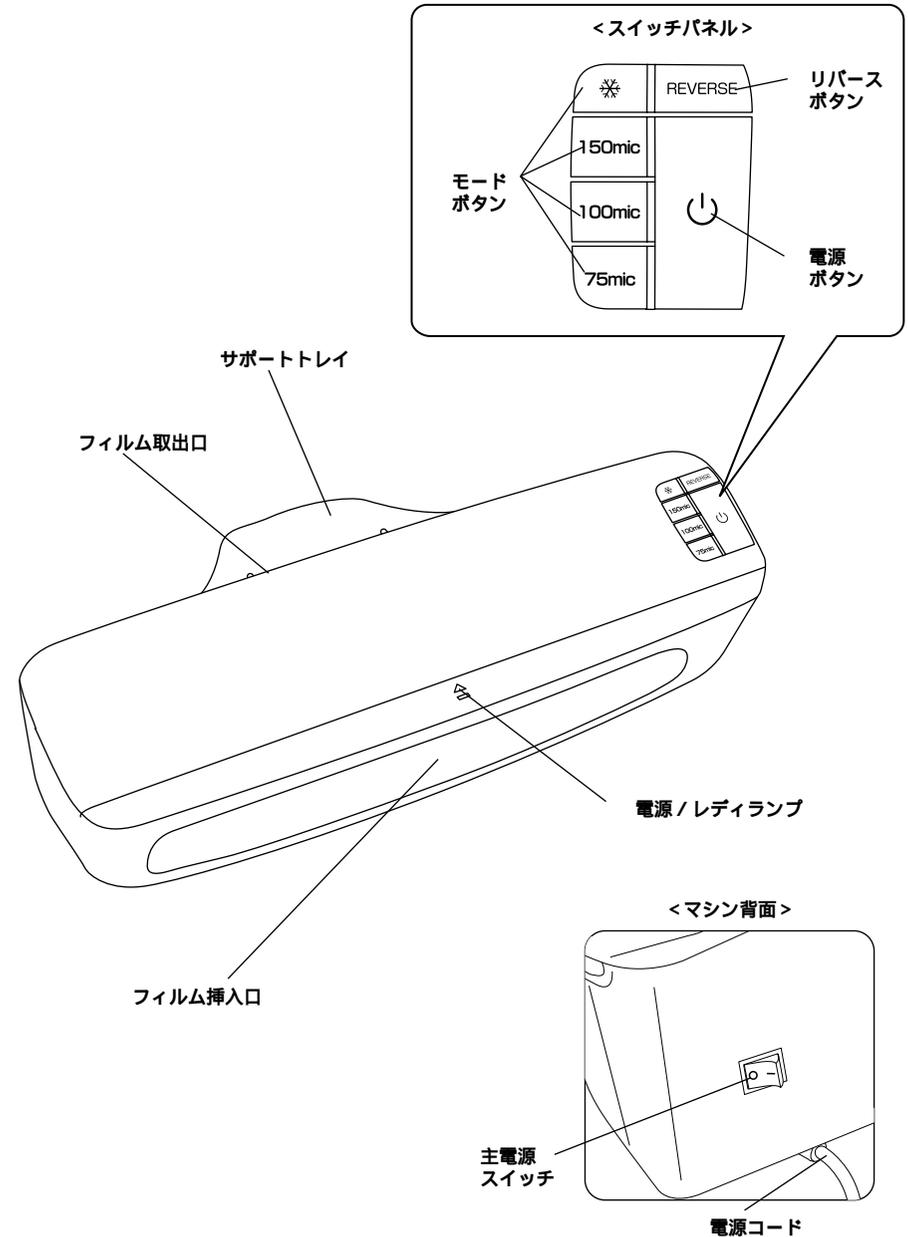
電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は、延長コード含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。
感電や発熱による火災の原因になります。



フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

フィルム取出口

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

サポートトレイ

フィルム取出口に出てくるラミネートされたものを支えるトレイです。使用時はサポートトレイをセットしてください。

電源/レディランプ

電源スイッチをオンにしますと、電源/レディランプ(赤)が点滅します。モードスイッチをホットラミネートモード(75mic・100mic・150mic)にした場合、ウォームアップが完了すると、電源/レディランプが点灯(緑)して、ラミネート可能なことを知らせます。

主電源スイッチ

マシン背面にある主電源スイッチを押して、電源をオン(I)・オフ(O)します。使用しない場合は、必ずオフ(O)にしてください。

電源ボタン

このボタンを押して電源をオンしますと、電源/レディランプ(赤)が点滅します。再度押しますと、電源はオフになり、電源/レディランプ(赤)が消灯します。使用しない場合は、必ずオフにしてください。

モードボタン

電源ボタンをオンにした後は、ホットラミネートモード(75mic)が設定されています。変更する場合は、モードスイッチを押してホットラミネートモード(75mic・100mic・150mic)・コールドラミネートモード(COLD)を選択します。ホットラミネートモード(75mic・100mic・150mic)を選択した場合は、ウォームアップを開始します。

リバースボタン

フィルムが詰まりフィルム取出口から排出されない場合、リバースボタンを押して、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。押している間だけローラーが逆転します。

電源コード

マシン本体背面にある電源コードを、必ずAC100Vのコンセントへ差し込んでください。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユボ等はラミネートしないでください。

和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

フィルムを含めて厚さ0.6mm以上になるものはラミネートしないでください。

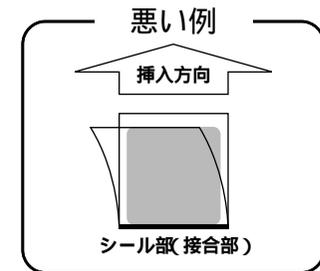
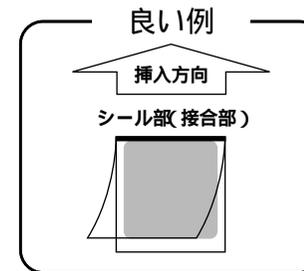
インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

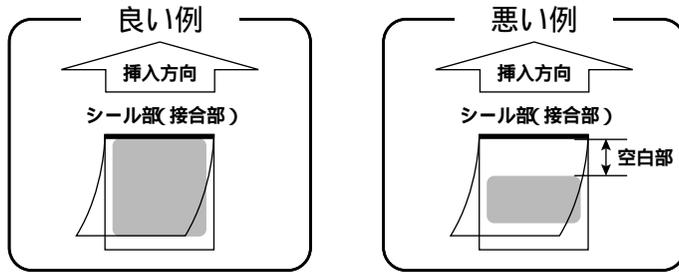
ラミネートするとき

重要 ご使用になる前に必ずお読みください。

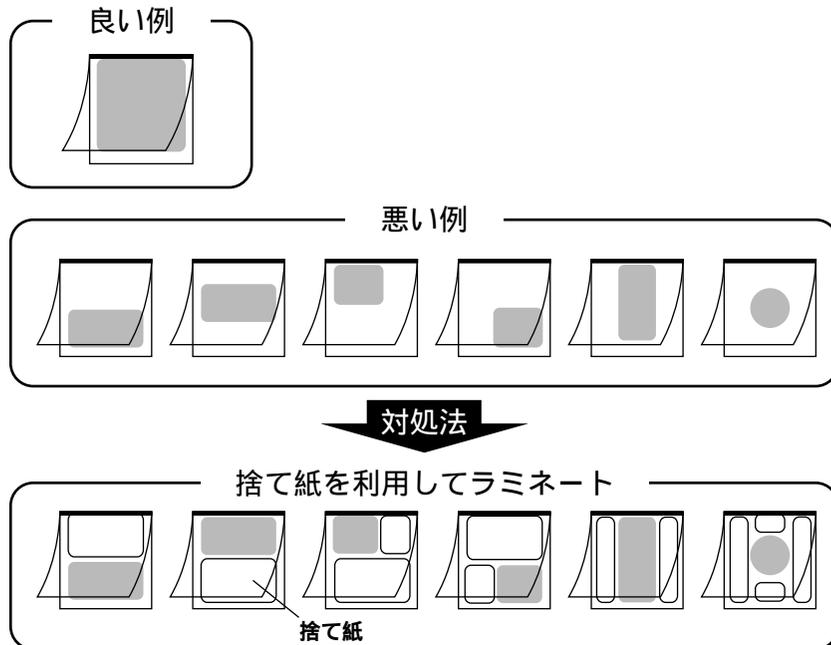
パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



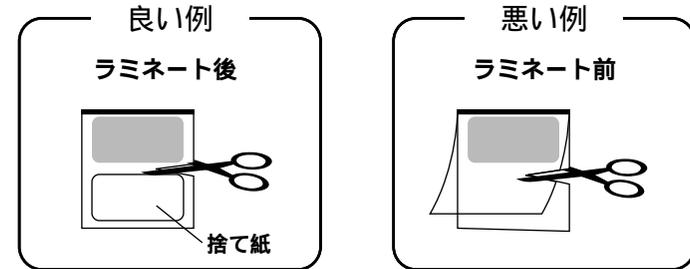
パウチフィルムのシール部(接合部)を奥まで詰めて加工物をセットしてください。
挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。
フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。



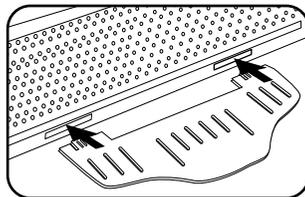
ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。
捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。



| | |
|-------------|---|
| ⚠ 注意 | |
| | 間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。) |

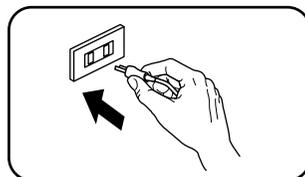
5・ご使用の前に

<サポートトレイのセット>
付属されているサポートトレイをマシン背面のフィルム取出口の下部に差し込んでセットしてください。

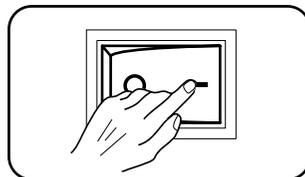


6・操作方法

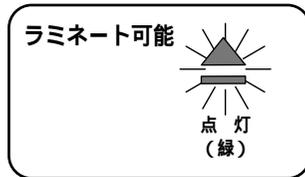
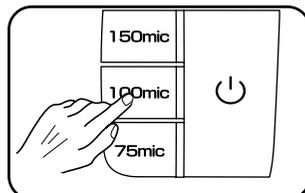
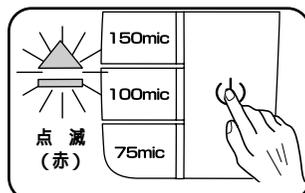
電源コードをコンセント(AC100V)に差し込んでください。



マシン背面にある主電源スイッチをオン()にしてください。



スイッチパネルの電源ボタンを押してください。電源ランプが点滅(赤)します。ホットラミネートモード(75mic)が設定されています。変更する場合はモードボタン(75mic・100mic・150mic)を押してください。ウォームアップを開始します。約3分後に、ウォームアップが完了し、電源/レディランプが点灯(緑)してラミネート可能なことを知らせます。設置環境により時間は異なります。



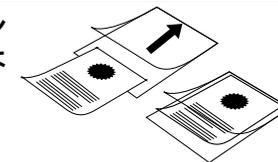
モード目安表

| フィルム厚 | 加工物 | コピー用紙 | カタログ | 写真 |
|----------|-----|---------|---------|---------|
| 75 ミクロン | | 75 mic | 75 mic | 100 mic |
| 100 ミクロン | | 100 mic | 100 mic | 150 mic |
| 150 ミクロン | | 150 mic | 150 mic | 150 mic |

左記にないフィルム厚と加工物の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。
温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

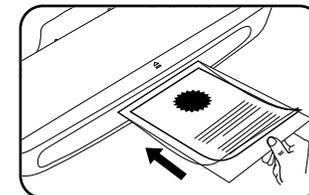
重要

ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

シールされた側からフィルム挿入口中央へまっすぐに差し込んでください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告



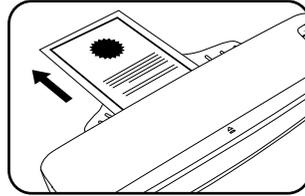
ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、「オフ」にして取り除いてください。

注意

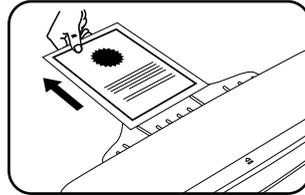


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

パウチフィルムがマシン後面のフィルム取出口から出てきます。



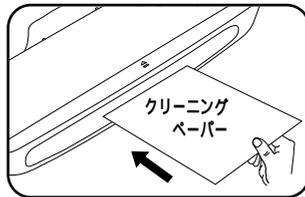
ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



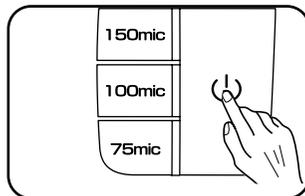
連続ラミネートをする場合

連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

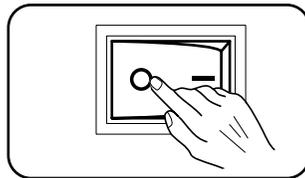
ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。(温度が高い状態の時に実施してください。)



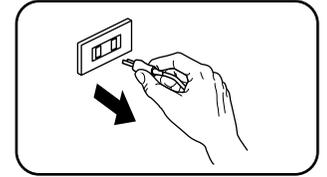
ローラークリーニングが終了したら、スイッチパネルの電源ボタンを押してください。電源ランプが消灯します。



本体側面後部にある主電源スイッチをオフ(O)にしてください。



安全のためにコンセントから電源プラグを抜いてください。



ローラークリーニング

ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙)を使用してください。

二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

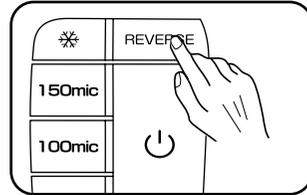
オートシャットオフ機能

電源が入ったまま約30分以上ご使用されない場合は、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は、電源ボタンを押して電源を入れ、ご使用ください。

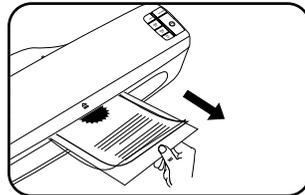
フィルム詰まりトラブル解消方法

ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。

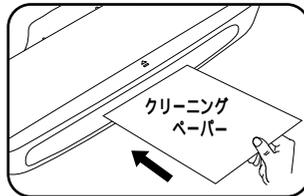
直ちにスイッチパネルのリバースボタンを押してください。押し続けている間、ローラーは逆転します。



加工物の全てがフィルム挿入口から排出されるまでリバースボタンを押し続けてください。



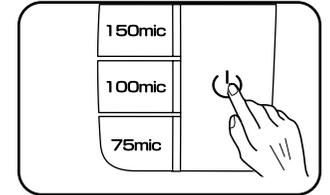
詰まったフィルムが投入口から排出されたら、必ずローラーをクリーニングしてください。



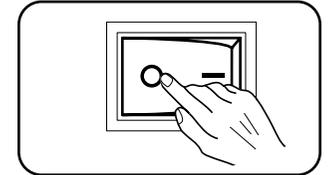
11・12ページのローラークリーニングを参照。

7・お手入れ方法

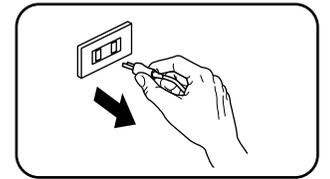
スイッチパネルの電源ボタンを押してください。電源ランプが消灯します。



マシン背面にある主電源スイッチをオフ(O)にしてください。

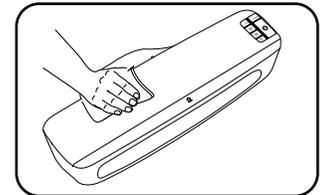


安全のためにコンセントから電源プラグを抜いてください。



やわらかい布でから拭きをしてください。

お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。



警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
感電や思わぬけがをする恐れがあります。

8・こんな時は

| 現象 | 原因 | 対処法(参照ページ) |
|----------------------|---|--|
| 電源が入らない | 電源プラグが正しくコンセントに入っていますか? 電源が入ってますか? | 電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(9ページ) マシン背面の主電源スイッチをオン(I)にして電源を入れてください。(9ページ) スイッチパネルの電源ボタンを押してください。電源/レディランプが点滅していることを確認してください。(9ページ) |
| ホットラミネートができない | 電源/レディランプ(緑)が点灯していますか? ホットラミネートモードを選択していますか? クーラーの冷気が直接当たっていませんか? | 電源/レディランプ(緑)が点灯するまでお待ちください。(9ページ) スイッチパネルのモードボタン(75mic・100mic・150mic)を押してください。電源/レディランプ(緑)が点灯するまでお待ちください。(9ページ) クーラーなどの冷気から離してご使用ください。(3ページ) |
| ラミネートフィルムがはがれる | 紙以外の材質のものをラミネートしていませんか? | 紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、写真・コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。(6ページ) |
| ラミネートされた加工物が波を打っている | ラミネート温度が高すぎます。 | モードボタンを押して、設定を下げてください。(150mic 100mic 75mic) (9ページ) |
| ラミネートされた加工物の表面が曇っている | ラミネート温度が低すぎます。 | モードボタンを押して、設定を上げてください。(75mic 100mic 150mic) (9ページ) |
| ラミネートフィルム表面が汚れる | ローラーのクリーニングをしていますか? | 同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。(12ページ) |
| ラミネートフィルムが取出口から出てこない | フィルムが詰まっていますか? | スイッチパネルのリバースボタンを押し続けて、フィルム挿入口側から詰まった加工物を戻してください。(13ページ) |

9・製品仕様

| 商品名 | パウチラミネーター |
|--------------------|-------------------------------|
| | C400V |
| 品番 | GLMC400V |
| サイズ(W) x (D) x (H) | 470 x 146(トレイ装着時230) x 123 mm |
| 質量 kg | 3.1 kg |
| 電源 | AC 100 V, 50/60 Hz |
| 定格消費電力 | 800 W |
| ローラー本数 | 4本 |
| 最大ラミネート幅 | 320 mm(A3) |
| 最大ラミネート厚 | 0.6 mm |
| 最大使用フィルム厚 | 150 μm |
| ラミネート速度 | 480 mm/分(50Hz) 570 mm/分(60Hz) |
| 加熱方式 | 外部加熱方式 |
| ウォームアップタイム | 約 3 分 |
| オートシャットオフ機能 | 約 30 分後 |